

# 札幌水道 ビジョン

2015  2024



安心でおいしい水をいつまでも

## はじめに ～実感水道を目指して～

半世紀前の札幌の水道では、暑が続く夏の日には水が出づらくなり、バケツにくみ置きをすることもありました。また、寒が続く冬の日には水道管が凍結することがあり、蛇口に巻きつけたタオルにお湯を浸して解凍させたものです。この頃、札幌市の人口は約 80 万人、水道の普及率は約 60%でした。

そして札幌水道は成長期から成熟期に移行し、現在では人口が約 194 万人、水道普及率がほぼ 100%に達し、水量面での充足に加え、水質面での安心・安全の確保などの質的な充実を図ってきた結果、「とまらない・にごらない・凍らない水道」が当たり前のものになっています。

そのような中、今後は、人口減少時代の到来を背景に札幌水道では初めて水需要が減少に転ずる見通しである一方で、経年劣化した施設の大規模更新、地震をはじめとする自然災害や水質管理上のリスクへの対応、環境への配慮などさまざまな課題に取り組んでいく必要があります。

この「札幌水道ビジョン」は、このように水道事業を取り巻く環境が厳しさを増していく中で、施設更新や自然災害への備えなどを計画的に行い、水道利用者の皆さまからいただいている信頼をさらに高めていくため、今後の課題や方向性などを明らかにしたうえ、これからの 10 年間で取り組む事業などをまとめたものです。

水道は、その土地の自然条件や社会環境など地域の実情に応じた社会システムとして成り立っていますが、利用者の皆さまを含め水道事業を担ってきた方々の「地域の心」によって支えられています。

私も水道事業に携わる者としては、このビジョンを利用者の皆さまと共有して今後の道標とし、先人の英断とたゆまぬ努力により築き上げてきた札幌水道をより強靱（きょうじん）なものとして次世代に引き継いでいきたいと考えております。

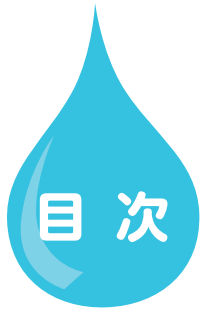
今後も地域の心が込められた水道として、より多くの皆さまに安全でおいしい水道水を感じていただき、札幌水道に対する安心と信頼を 50 年、100 年先まで実感いただける「実感水道」を目指していきますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、ビジョン策定に際して多大なご尽力をいただいた札幌市営企業調査審議会水道部会委員の皆さま、水道モニターの皆さま、ワークショップ、アンケート、パブリックコメントなどさまざまな形でご協力いただいた皆さまに対し、ここに深く感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月

札幌市水道事業管理者

長利秀則



# 目次

第1章 策定に当たって	1
札幌水道ビジョンの全体像	3

## 構想編

第2章 基本理念と目標	5
第3章 札幌水道のあゆみ	7
第4章 札幌水道の現状と課題	9
第5章 今後の事業環境と事業展開の考え方	27

## 施策編

第6章 今後10年間の取組姿勢	35
第7章 重点取組項目と事業の実施計画	37

### 重点取組項目1 水源の分散配置と水質の安全性の向上

主要事業1 水源の水質保全	39
主要事業2 水源の分散配置	40
主要事業3 水質監視・管理	41

### 重点取組項目2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化

主要事業4 取水・導水・浄水施設の改修	42
主要事業5 送水システムの強化	43
主要事業6 配水管の更新	44
主要事業7 水道施設の効率的な維持・保全	45
主要事業8 耐震化の推進	47
主要事業9 応急給水対策と保安の強化	49

### 重点取組項目3 利用者とのコミュニケーションの充実

主要事業10 利用者とのコミュニケーションの充実	51
主要事業11 小規模貯水槽水道や給水装置の適切な管理の支援	52

### 重点取組項目4 経営基盤の強化と連携の推進

主要事業12 財務基盤の強化と経営の効率化	53
主要事業13 技術力の確保・向上と国際貢献	54
主要事業14 広域化の推進や多様な主体との連携	55

### 重点取組項目5 エネルギーの効率的な活用

主要事業15 エネルギーの効率的な活用	56
---------------------	----

第8章 財政収支見通し	59
第9章 進行管理体制	62

## 資料

施設整備の方向性	65
札幌市水道事業5年計画(2010-2014)の実施状況	71
札幌水道ビジョンの策定経過	75